

作って、売る医療機器

— 後戻りしない開発プロセスの設定とプロジェクトマネジメントの基礎

【企画・設計編】 2018年3月8日(木)～9日(金)

【設計・製造編】 2018年4月26日(木)～27日(金)

【法令・QMS編】 2018年5月24日(木)～25日(金)

[裏面に受講料とカリキュラム詳細]

講師・カリキュラム編成者



榊原 正博 氏

(株)モノ・ウェルビーイング 代表
医療機器メーカーにて開発、チュフラインランド
ジャパンにて第3者認証等に従事後、09年に独立。
その後「福祉大国」スウェーデンに2度渡り、様々
な研修を受けた。この経験を生かし、医療機器開発
のほか北歐式福祉用具の販売やリハビリプログラムの
提供などを行っている。



清水 美雪 氏

(株)メディカルラボパートナーズ 代表取締役
元テルモ株式会社主任研究員。17年間、研究開発部門
にて医療機器開発を担当。新規事業開発部門の部門長と
して、事業戦略の立案を行う傍ら、開発者の育成、また、
自らも開発者として、製品開発を行う。
経済産業省・医療機器開発支援ネットワーク 伴走コンサル、
他自治体・企業支援実績多数。

募集人数 各回 **15名** 先着順にて承ります

会場

かながわサイエンスパーク (KSP) 内 研修室

(川崎市高津区坂戸 3-2-1)

J R南武線「武蔵溝ノ口」駅・東急田園都市線「溝の口」駅下車

このような方にお勧めします。

- ・医療機器開発のプロジェクト・マネジメントやコーディネートの必要に迫られている方
- ・医療機器開発・製造販売の従事年数が数年程度の方
- ・新たに医療機器開発に携わることになった方
- ・医療機器産業への参入を予定している企業の方

※ メーカーやものづくり企業、医療関係者のいずれの方もご受講いただけます。

カリキュラム編成者（榊原正博・清水美雪）からのメッセージ

「こんなはずではなかった」、「なぜ、計画とおりにならなかったのか」。実は、医療機器開発の成否は、優れた発想や技術シーズで決まるわけではありません。

近年、医療機器産業は国や自治体、ファンド等による新規参入支援が充実し、異分野・異業種による新たな提案や製品開発が盛んになっています。しかし、「試作品」は次々と生まれるのですが、その先がなかなか続かず、開発途中で中止や白紙撤回となるケースが相次いでいます。たくさんのセミナーに参加して、関連図書を精読し、十分な知識がある方でも、隘路にはまり、身動きが取れなくなります。その要因は、獲得したたくさんの知識を適切なタイミングで活用できなかったことにあります。

失敗の経験を重ねることも大切な学習かもしれませんが、そうした遠回りのほとんどは事前の準備があれば避けられる不要なプロセスです。

本セミナーは、シンプルに、医療機器を「作ること（製造）」、「売ること（販売）」がターゲットです。研究開発ステージから製品開発ステージへスムーズに移行できるように、企画・設計・製造のプロセスを設定し、実行するために必要なカリキュラムとなっています。後戻りせず、医療機器開発を着実に前へ進めるための基礎固めとして、本セミナーをご活用ください。

お申込み・お問合せ

地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC) 教育研修グループ

〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 KSP東棟1F Fax. (044)819-2097

e-mail: ed@newkast.or.jp URL <https://www.kanagawa-iri.jp/>

	【企画・設計編】 3月8日(木)～3月9日(金)	【設計・製造編】 4月26日(木)・27日(金)	【法令・QMS編】 5月24日(木)・25日(金)
第1日	企画① 医療業界の現状 医療機器を取り巻く環境/病院の種類/保険制度	設計① 医用電気機器の設計の基礎	法規① 薬機法と各国の法規制について
	企画② ニーズの取り扱い 商品コンセプトの設定/医療従事者へのヒアリングの方法	設計② 医用電気機器のEMC	法規② 医療機器の安全管理と市場安全監視(ビザランス)
	企画③ マーケティングとビジネスモデル 売上予測の立て方/医療機器の収益モデル	設計③ 医療機器ソフトウェア設計の基礎	法規③ 医療機器の品質管理、製造管理とトレーサビリティ
	企画④ 診療報酬と保険制度 診療報酬の仕組み/保険適用までの流れ	設計④ 規格設定と材料選定	法規④ 不適合品の処置と是正処置
	企画⑤ 医療機器参入の失敗に学ぶワークショップ 医療機器への新規参入に関するケーススタディとグループディスカッション	設計⑤ 生物学的安全性試験	法規⑤ 医療機器の変更管理
第2日	企画⑥ 開発のステップとデータ取得の基本 開発の全体像/データの品質管理/有効性を示すデータ取得	設計⑥ ユーザビリティ評価	法規⑥ 環境管理と清浄度管理
	設計① 要求仕様とリスクマネジメント(1) 要求仕様の意味/要求仕様書の内容/リスクマネジメントプロセス	設計⑦ 包装、滅菌バリデーション	法規⑦ 設備の管理と日常点検
	設計② 要求仕様とリスクマネジメント(2) 上記実習/要求仕様書の作成/リスクマネジメントの実施	製造① 製造における検査と出荷判定	法規⑧ 開発者の人材育成
	設計③ 妥当性確認と設計の終わらせ方(1) 妥当性確認計画/妥当性確認の実施/実施件数の統計的根拠	製造② 製造設備バリデーション	法規⑨ 内部監査
設計④ 妥当性確認と設計の終わらせ方(2) 上記の実習/サンプル機器による妥当性確認計画の作成/妥当性確認の実施	製造③ 臨床評価・臨床試験(目的と方法) 製造④ 包装・表示の規制	法規⑩ その他の管理(文書・記録、要員、トップマネジメント等)	

■ 受講料 (消費税込)

※ 時間配分、講師、「設計・製造編」「法令・QMS編」の内容はホームページをご参照ください。

	区分	全日程	2日(各編)単位
割引対象	A 神奈川県外企業	78,000円	26,000円
	B KISTEC パートナー団体会員	62,400円	
	C 神奈川県内中小企業*		
	D C以外の神奈川県内企業 E 神奈川県内在住の個人の方	70,200円	

* 神奈川県内中小企業とは・・・神奈川県内に事業所があり、資本金が3億円以下または企業全体の従業員数が300名以下の企業

■ 申込要項

受講申込書にご記入の上、電子メール添付又はFaxにてお送りください。先着順にて受け付けます。KISTEC ホームページからもお申し込みいただけます。
* 申込締切後、受講決定者には受講票等の必要書類をお送りします。
* やむを得ない事情により、日程・内容の変更が生じたり、講座を中止することがございます。
* 講義中の録音・写真撮影はご遠慮ください。

『作って、売る医療機器 コース』受講申込書

FAX 送付先 **044-819-2097**

* 項目は、該当するものに○印をつけて下さい。FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが着信確認のお電話をお願いいたします。

フリガナ				※いずれかに○をつけてください			
氏名				ア. 全日程受講(6日間) イ. 選択受講 ※受講希望日程に○をつけてください ① 3/8・9 ② 4/26・27 ③ 5/24・25			
フリガナ 企業名				所属・ 役職名			
所在地	〒 -						
TEL	(内) FAX			E-mail @			
年齢 歳	* 性別 男 女	*この講座のご案内はどこでご覧になりましたか DM メールマガジン ホームページ ポスター その他()			* 今後KISTECからの情報をお送りしてよろしいですか 要・不要 * KISTEC科学技術理解増進パートナーシップの会員ですか はい・いいえ		
* 資本金	ア 3億円以下 イ 3億円超～10億円未満 ウ 10億円以上 エ 該当なし			* 従業員数	ア 300人以下 イ 301人～1000人未満 ウ 1000人以上		

受講ご希望の方は、この受講申込書にご記入の上、ファクスで送信して下さい。